

# 「旧鉄道第一聯隊材料廠煉瓦建築」写真パネル展 “学び舎に残るレンガ建築”

## 千葉経済大学総合図書館企画展示

創立 80 周年を迎える千葉経済学園（千葉市稲毛区轟町）の敷地内には、千葉県指定有形文化財（建造物）の「旧鉄道第一聯隊材料廠煉瓦建築」が保存されています。鉄道聯隊は日清戦争直後に鉄道の軍事的重要性が認識されて創設され、明治 41 年に千葉に移転して来ました。「轟町」という地名は、鉄道聯隊等の施設があって戦車や軍靴の音が鳴り響いていたことに由来するようです。

関東大震災では損傷を受けず、第二次世界大戦の空襲の被災を逃れた貴重な文化財で、千葉市教育文化センター主催の「千葉の戦跡をめぐる旅」や、千葉市市民局主催の「戦跡めぐりウォーキング」で、毎年見学者が訪れています。

戦後 70 年にあたって、学園所蔵の資料から貴重な写真などをパネルにして、図書館 2 階閲覧室机の上に展示しています。なお、煉瓦建築棟の見学も外からできます。



写真提供：千葉県教育委員会

### 「旧鉄道第一聯隊材料廠煉瓦建築」概要

煉瓦造アーチ構造、木造小屋組の建物で、面積は 695.6 m<sup>2</sup>。煉瓦構造の主要部分は 54.4m（約 30 間）×7.3m（約 4 間）と細長い長方形を呈している。

明治 41 年、鉄道第一聯隊材料廠の建物として建築され、大正 12 年千葉陸軍兵器廠、昭和 20 年大蔵省から旧日本国有鉄道が借り、列車・レール等の修理工場として使用。昭和 60 年からは学校法人千葉経済学園の所有となった。

千葉県内に数少ない明治年間創建の大規模な煉瓦建築であり、特に内部にある 10 連の雄大なアーチ構造はこの建物の特徴で、全国的にも例がない。我が国の初期の煉瓦建築の構造を知る上で極めて重要であり近代建築史及び煉瓦建築の歴史を考える上でも貴重な建物である。

期間：平成 27 年 7 月 1 日（水）～9 月 15 日（火）

会場：千葉経済大学総合図書館 2 階閲覧室

千葉市稲毛区轟町 3-59-5

開館時間 平日 8:45～19:00

土曜日 8:45～16:30

\*夏期休業中（8/3～9/15）は

平日 9:00～16:30

土日および 8/13/～8/15 は休館

問合せ：千葉経済大学総合図書館

電話 (043)253-9941（直通）

